

令和2年度

事業報告書

令和3年6月

一般社団法人 日本私立歯科大学協会

令和2年度事業報告及び収支決算報告（案）

目 次

I 事業報告

1. 個別事項

- (1) 歯科医療提供体制等に関する検討会について……………3
- (2) 歯学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂について……………3
- (3) 歯科医師国家試験について……………4
- (4) 歯科医師臨床研修について……………4
- (5) 歯学教育分野別評価について……………5
- (6) スチューデント・デンティスト制度について……………7
- (7) 附属病院の感染対策について……………7
- (8) 協会の「広報戦略」について
 - ①第11回歯科プレスセミナーについて……………8
 - ②第5回「歯科診療」及び「歯科医師」に関する意識調査について……………9
- (9) 私立歯科大学（学部）の財政等の現状について（平成31年版）……………11
- (10) 広報発行（第80号・第81号）について……………11
- (11) 受験生確保対策事業について
 - ①協会ホームページのリニューアルについて……………13
 - ②「歯学部へ行こう!!」について……………13
 - ③高等学校等への入試関係資料の送付について……………14
 - ④入学志願者の状況調査等について……………15
- (12) 研修事業について……………15
- (13) 私立大学歯学部学生生活協議会について……………15
- (14) 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - ①令和2年度協会事業の開催方法等について……………15
 - ②協会加盟校の卒業式および入学式日程の調査について……………16
 - ③新型コロナウイルス感染症への対応状況調査について……………16
 - ④新型コロナウイルスに関係する調査について……………17
 - ⑤新型コロナウイルス感染症への対応に伴う私立歯科大学・歯学部
附属病院における収支状況等に関する調査について……………17
 - ⑥新型コロナウイルス感染症に関する病院経営状況調査等について……………18
 - ⑦感染防護用品調達安定化調査事業について……………19
- (15) 災害歯科保健医療連絡協議会について……………19
- (16) 日本私立歯科大学協会賛助会員の退会について……………20
- (17) 私学関係諸団体との提携・協力及び援助について……………20

2. 会 議

(1) 総 会

- ・第90回定時総会（R2.8.5）……………33
- ・第91回臨時総会（R3.3.25）……………36

(2) 理事会

- ・第1回（R2.7.20）……………39

・ 第 2 回 (R2. 11. 19)	42
・ 第 3 回 (R3. 2. 25)	47
・ 第 4 回 (R3. 3. 25)	50
(3) 委員会	
① 広報委員会	
・ 第 1 回 (R2. 8. 6)	52
② 受験生確保対策委員会	
・ 第 1 回 (R3. 3. 17)	52
(4) 事務局長会議	
・ 第 1 回 (R2. 7. 6)	53
・ 第 2 回 (R2. 11. 12)	53
・ 第 3 回 (R3. 2. 17)	54
II 収支決算－令和 2 年度日本私立歯科大学協会収支決算報告書	55
III 令和 3 年度日本私立歯科大学協会事業計画	66
IV 令和 3 年度日本私立歯科大学協会収支予算	69
V 日本私立歯科大学協会役員名簿	71
VI 正会員の入会・退会及び会員名簿	72
VII 資料	
1. 私立歯科大学・歯学部募集人員の推移	74
2. 令和 2 年度入試結果	75
3. 令和 3 年度私立歯科大学・歯学部入学者選抜実施計画表	76
4. 私立歯科大学・歯学部学費一覧	77
5. 令和 3 年度入学志願者・受験者状況（中間状況）	78

I 事業報告

1. 個別事項

(1) 歯科医療提供体制等に関する検討会について

1. 第3回理事会（R3.2.25、WEB会議）において、一戸常務理事から資料により、令和3年2月19日に開催された第1回歯科医療提供体制等に関する検討会について、田口歯科保健課長の挨拶の中で、従来の議論にこだわることなく、新しい視点で意見を出していただきたいとの発言があったこと及び初回の会議でもあったので、各構成員から課題として考えていることの発言がなされたとの説明があった。
2. 第91回臨時総会（R3.3.25、WEB会議）において、羽村専務理事から資料により、厚生労働省において、歯科医療提供体制等に関する検討会が設置され、2月19日に第1回会議が開催されたとの説明があった。

(2) 歯学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂について

1. 第2回理事会（R3.11.19、WEB会議）において、一戸常務理事から、歯学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂案の検討については、これまでは文部科学省が主導して行ってきたが、今回からは、外部機関に委託して実施することとなり、日本歯科医学教育学会が受託して実施することとなっているとの説明があった。

また、三浦会長から資料により、令和2年度大学における医療人養成のあり方に関する調査を文部科学省から日本歯科医学教育学会が受託して実施することとなり、これに関連して、文科省医学教育課から調査研究チーム構成員候補者を私立歯科大学協会から数名推薦してほしいとの依頼が10月27日にあり、その週の30日までに推薦してほしいとのことで、理事の皆様にお諮りする時間もなかったことから、会長校と副会長校からそれぞれ1名計4名の方を推薦したので、ご了承願いただきたいとの説明があった。

なお、日本歯科医学教育学会において他団体からの推薦者等とも調整を行い、日本大学歯学部から推薦いただいた先生に委員をお願いすることになったとの連絡が、文部科学省からあったとの報告があった。

2. 第3回理事会（R3.2.25、WEB会議）において、一戸常務理事から資料により、日本歯科医学教育学会で行われている、歯学教育モデル・コア・カリキュラム改定のスケジュール等について、説明があった。

また、藤井副会長から、従来は各学会に要望をお聞きすると、自分の専門分野を強調するようになるとの意見が多く出される傾向があったこともあり、今回は若い人に多く検討に加わっていただくようにしたとの追加説明があった。

3. 第91回臨時総会（R3.3.25、WEB会議）において、羽村専務理事から資料により、日本歯科医学教育学会において、歯学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂の検討が行われているとの説明があった。

（3） 歯科医師国家試験について

1. 第114回歯科医師国家試験の不適切な問題について、各大学から厚生労働省に意見提出したものを、令和3年2月15日、2月22日及び2月25日の3回に分けて、協会からも会長名で厚生労働省に意見を提出した。

2. 第4回理事会（R3.3.25、WEB会議）及び第91回臨時総会（R3.3.25、WEB会議）において、令和3年1月30日及び31日に実施され、3月16日に合格発表された「第114回歯科医師国家試験」の結果について、白石事務局長から資料により、説明があった。

また、合格発表当日には、厚労省から合格発表資料を入手し、直ちに、会員校にメールで情報提供した。

【第114回】

	(出願者数)	(受験者数)	(合格者数)	(合格率)
新卒者	2,615人	2,103人	1,687人	80.2%
全体	3,852人	3,284人	2,123人	64.6%

(昨年同様の状況)

【第113回】

	(出願者数)	(受験者数)	(合格者数)	(合格率)
新卒者	2,540人	1,995人	1,583人	79.3%
全体	3,798人	3,211人	2,107人	65.6%

（4） 歯科医師臨床研修について

1. 第2回理事会（R2.11.19、WEB会議）において、一戸常務理事から、来年4月から歯科医師臨床研修制度が改正され、多面的評価の推進ということが入ってきたが、その具体的な実施方法等については、現在、厚生労働科学研究費を使って、調査研究を進めており、その結果を踏まえて、実施されることになるとの説明があった。

また、白石事務局長から資料により、令和3年度概算要求で歯科医師臨床研修費が前年に引き続き増額要求となっており、1,357,886千円（前年度1,303,116千円）と5,477万円増額要求となっているとの説明があった。

2. 第3回理事会（R3. 2. 25、WEB会議）において、一戸常務理事から資料により、厚生労働省で検討・決定され、令和3年4月から適用となる、歯科医師臨床研修制度改正の概要について説明があった。

また、白石事務局長から資料により、令和3年度政府予算案に歯科医師臨床研修費が概算要求どおり、1,357,886千円と5,477万円増額して計上されていることなどの説明があった。

3. 第91回臨時総会（R3. 3. 25、WEB会議）において、羽村専務理事から資料により、厚生労働省において検討・決定された歯科医師臨床研修制度が改正され、令和3年4月から適用されるとの説明があった。

（5）歯学教育分野別評価について

1. 第1回理事会（R2. 7. 20、WEB会議）において、三浦会長から資料により、歯学教育分野別評価協議会「第4回会議」を書面会議で開催し、全会員33名の同意により、大学基準協会歯学教育評価準備委員会での検討状況等について承認されたこと及び7月17日に開催された、歯科大学学長・歯学部長会議でも報告をしたとの説明があった。

引き続き、大学基準協会歯学教育評価準備委員会委員長の羽村先生から、資料により、検討状況及び今後のスケジュール等の説明並びに歯科大学学長・歯学部長会議で出席者から質問があったことについては、今後、準備委員会で検討する旨の説明があった。

さらに、出席者から、評価者の養成に関する質問等があり、種々意見交換の上、その方向性について確認した。

2. 第90回定時総会（R2. 8. 5、WEB会議）において、三浦会長から資料により、歯学教育分野別評価協議会「第4回会議」において、歯学教育分野別評価の検討状況及び今後の予定について、全会員33名の同意により、承認されたこと及び7月17日に開催された歯科大学学長・歯学部長会議においても、報告をしたとの説明があった。

引き続き、羽村専務理事から、資料により、大学基準協会歯学教育評価準備委員会での検討状況について説明があった。

3. 第2回理事会（R2. 11. 19、WEB会議）において、羽村専務理事から資料により、大学基準協会歯学教育評価準備委員会での検討概要について、評価体制、評価者の要件及び評価手数料は、評価者の交通費、評価者要請に係る経費、大学基準協会職員の給与費等から300万円になることなどの説明があった。

また、歯学教育評価を受けた際の自己点検・評価の結果を、大学機関別評価の際の自己点検・評価報告書を作成する前提資料として活用できるようにすることなどについて、大学基準協会と同様の取り扱いを日本高等教育評価機構に

も依頼するため、12月1日に三浦会長及び羽村専務理事等が評価機構に行くこととしているとの説明があった。

さらに、評価手数料について獣医学と同様に大学基準協会の正会員については、評価手数料の軽減を検討できないかとの質問が事前にあったことについて、獣医学教育の評価における評価手数料軽減は、費用と評価の質担保の関係から、大学基準協会内部でも問題提起がなされ、来年度からは300万円に統一される予定となっているとの説明があった。

加えて、資料により、現時点の私立歯科大学・歯学部の歯学教育評価の申請時期等について説明があった。

これらの説明を踏まえ、歯学教育評価準備委員会での検討の方向性を承認した。

4. 第3回理事会（R3. 2. 25、WEB会議）において、羽村専務理事から資料により、大学基準協会での歯学教育評価の実施に向けた検討の進捗状況及び各大学・学部の受審申請年度の予定について説明があった。

引き続き、三浦会長から、3月9日に歯学教育分野別評価協議会「第5回会議」を開催することとしており、当日は、羽村協議会副会長から、今説明のあった、検討の進捗状況を説明するとともに、協議会の解散と会費の剰余金をどのように処理するかということとを協議する予定としており、案としては、剰余金を均等割りして各大学・学部に返金する方法と大学基準協会に寄付して、準備委員会及び試行評価にかかった金額を差し引き、その残額で一巡目の評価手数料を減額するという二つの方法が考えられるが、協議会会議では、後者の評価手数料を減額する案を提案したいと考えているとの説明があった。

次に、白石事務局長から資料により、経費の執行状況等について説明があった。

以上の説明を踏まえ、協議した結果、三浦会長から説明のあった内容で、協議会「第5回会議」に提案することを確認した。

5. 第4回理事会（R3. 3. 25、WEB会議）において、三浦会長から、3月9日に開催した歯学教育分野別評価協議会「第5回会議」において、羽村協議会副会長等から、令和3年度からの実施に向けて、大学基準協会において、順調に準備が進められている状況を説明した上で、歯学教育分野別評価協議会は設置目的を達成したと考えられることから、令和3年3月31日を以って解散すること及び剰余金を歯学教育評価の円滑な実施のために大学基準協会に寄付することを提案し、全会一致で承認されたとの報告があった。

6. 第91回臨時総会（R3. 3. 25、WEB会議）において、羽村専務理事から資料により、大学基準協会での歯学教育評価の実施に向けた検討の進捗状況及び各大学・学部の受審申請年度の予定について説明があり、引き続き、白石事務局長から、歯学教育分野別評価協議会の収支決算見込みについて説明があった。

次いで、三浦会長から、3月9日に開催した歯学教育分野別評価協議会「第5回会議」において、羽村協議会副会長等から、令和3年度からの実施に向けて、大学基準協会において、順調に準備が進められている状況を説明した上で、歯

学教育分野別評価協議会は設置目的を達成したと考えられることから、令和3年3月31日を以って解散すること及び剰余金を歯学教育評価の円滑な実施のために大学基準協会に寄付することを提案し、全会一致で承認されたことの報告があった。

(6) スチューデント・デンティスト制度について

第2回理事会（R2.11.19、WEB会議）において、藤井副会長から、スチューデント・デンティスト認定運営協議会へ最後の1校から申請があり、これで全29校全ての認定作業が、間もなく終了する予定であること及び毎年度各校5万円の会費については、前年度分の残金があることから、本年度は徴収しない予定であるとの報告があった。

(7) 附属病院の感染対策について

1. 第12回私立医科大学病院感染対策協議会総会（R2.8.8、WEB会議）が、岩手医科大学附属病院が当番校となり開催され、本協会から岩手医科大学歯学部の八重柏 隆先生、奥羽大学歯学部の板橋 仁先生が代表として出席した。
2. 第22回国公立大学附属病院感染対策協議会（R2.11.19 WEB会議）が、名古屋大学が主管校となり開催され、本協会から大阪歯科大学の松本一浩先生、福岡歯科大学の橋本憲一郎先生が代表として出席した。
3. 平成30年度感染対策強化に関するアンケート調査結果取りまとめ、9月4日に附属病院感染対策協議会委員にメールで送信し、情報を共有した。
4. 第2回理事会（R2.11.19、WEB会議）において、榎常務理事から資料により、平成30年度感染対策強化に関するアンケート調査結果について、本アンケートは協会附属病院感染対策協議会委員の皆様にご協力いただき調査して取りまとめたもので、今回は、従来の院内感染対策の調査に加えて、外来での抜歯時における感染防護対策のアンケート調査も実施したとの説明及び調査協力への謝辞があった。また、調査をまとめていただいた、北海道医療大学の永易先生と福岡歯科大学の橋本先生のご尽力への謝辞が、併せてあった。

なお、院内感染対策の調査結果については、第11回歯科プレスセミナーで説明をして、私立歯科大学附属病院では、しっかりと感染対策をしていることを伝えたとの説明があった。

(8) 協会の「広報戦略」について

① 第11回歯科プレスセミナーについて

1. 第11回歯科プレスセミナー（R2.10.21）を、「新型コロナウイルス感染症と歯科医療」をテーマとし、アルカディア市ヶ谷を会場として、オンライン形式で開催した。

当日は、三浦会長のあいさつに引き続き、羽村専務理事から第5回意識調査の結果概要の説明、「ウイルスに対抗する歯科の重要性」と題して、日本歯科大学小林隆太郎教授及び「私立歯科大学・歯学部における感染対策の現状(収録ビデオ)」と題して、協会附属病院感染対策協議会議長の榎常務理事が講演を行った。

セミナーには、85名のプレス関係者等の出席があった。

開催概要

■名称	第11回歯科プレスオンラインセミナー ～新型コロナウイルス感染症と歯科医療～
■講演テーマ	①「ウイルスに対抗する歯科の重要性」 ②「私立歯科大学・歯学部における感染対策の現状」
■主催	一般社団法人 日本私立歯科大学協会
■開催日	2020年10月21日（水）
■開催時間	14:00～15:45
■会場	アルカディア市ヶ谷 4階「鳳凰」 
■来場メディア	30～40名程度 中央テレビ通信社（医療・生活系）、歯科業界紙、健康紙、医学ジャーナリストおよび会員大学メディアをカバーするブログ系・地方紙、WFRメディアなど
■出演者	【講師】 日本歯科大学附属病院口腔外科 小林 隆太郎 教授 日本私立歯科大学協会常務理事 附属病院感染対策協議会議長・昭和大学歯学部 榎 宏太郎 教授 【挨拶】 日本私立歯科大学協会 三浦 廣行 会長 【司会】 同協会 羽村 卓 専務理事 【謝会挨拶】 同上

TIME	LAP	TITLE	登壇者	内容
13:30	'30	受付		
14:00	'5	主催者挨拶	一般社団法人 日本私立歯科大学協会 三浦 廣行 会長	■協会代表挨拶
14:05	'15	協会概要紹介 講師紹介	一般社団法人 日本私立歯科大学協会 羽村 卓 専務理事	■第5回意識調査概要説明 ■協会概要紹介 ■講師紹介
14:20	'45	講演①	日本歯科大学附属病院口腔外科 小林隆太郎 教授	■講師ご講演 「ウイルスに対抗する歯科の重要性」
15:05	'20	講演②	日本私立歯科大学協会常務理事 附属病院感染対策協議会議長 私立歯学部 榎 宏太郎 教授	■講師ご講演（ビデオ） 「私立歯科大学・歯学部における感染対策の現状」
15:25	'15	質疑応答	進行 羽村 卓 専務理事 同席 日本私立歯科大学協会常務理事 小林隆太郎 教授 附属病院感染対策協議会議長 北海道医科大学附属歯科口腔 外科 永島祐樹 医長	■質疑応答 手帳にて質問を受付
15:40	'05	謝会	羽村 卓 専務理事	

2. 第2回理事会（R2.11.19、WEB会議）において、羽村専務理事から資料により、第11回歯科プレスセミナーを10月21日に、「新型コロナウイルス感染症と歯科医療」をテーマに、初めてオンラインで開催したこと及びセミナーの概要について説明があった。また、内容は大変好評で、各方面で報道されているとの説明が併せてあった。

引き続き、白石事務局長から資料により、当日の出席者は85人であったこと及び今回の経費は5,605,200円で、前年の4,730,000円に比べて、875,200円の増となっていること、増加要因は、オンライン開催による、配信スタッフ、配信器材、バックパネル作成等によるものであり、会場借料は減少しているとの説明があった。経費は、各会員校から30万円お支払いいただいた510万円と前年度の残額339,046円を充てても、166,154円不足することとなり、不足分については、協会の事業費から充填することとしたいとの説明があった。

3. 第3回理事会（R3.2.25、WEB会議）において、白石事務局長から資料により、第11回歯科プレスセミナーについて、開催経費5,605,200円に対して、報道等の広告換算金額は、62,058千円と約11倍の効果があったとの報告があった。

引き続き、羽村専務理事から、歯科プレスセミナーは協会の広報に大きな役割を果たしてきていることから、令和3年度も継続して実施することによりかとの提案があり、これを承認した。

4. 第91回臨時総会（R3.3.25、WEB会議）において、羽村専務理事から資料により、10月21日に「新型コロナウイルス感染症と歯科医療」と題し、日本歯科大学 小林隆太郎教授を講師として、第11回歯科プレスセミナーを新型コロナウイルス感染への配慮から初めてオンラインセミナー形式で開催し、各方面から大きな反響があったとの報告があった。

次いで、白石事務局長から、資料により、開催経費5,605,200円に対して、報道等の広告換算金額は、62,058千円と約11倍の効果があったとの報告があった。

② 第5回「歯科診療」及び「歯科医師」に関する調査について

1. 第5回「歯科診療」及び「歯科医師」に関する調査を9月に実施し、10月21日に開催した第11回歯科プレスセミナーにおいて、羽村専務理事から、結果の概要について説明した。

また、プレス関係者約400人に調査結果を郵送した。

11月8日はいい歯の日！

全国の10～70代の男女1,000人に関く
「歯科診療」および「歯科医師」に関する第5回意識調査

新型コロナで、歯や口内の健康リスクがアップ？ 新型コロナウイルス感染拡大で、約6割が歯科受診を控えたいと回答

この人に診てほしい…「理想の歯科医師像」

男性は **福山雅治さん**、女性は **天海祐希さん**

一般社団法人日本私立歯科大学協会(東京都千代田区)は、11月8日の「いい歯の日」を前に、幅広い世代(10～70代)の男女1,000人に対して、「歯科診療」および「歯科医師」に関する意識調査を実施しました。前々2016年に続く今回は、5回目の調査となります。

◆調査期間：2020年9月16日(水)～9月18日(金) ◆調査対象：10～70代の男女1,000人

新型コロナで、歯や口内の健康が損なわれやすい状況に

- ◆コロナ感染拡大で、61.7%が「歯科受診や検診を控えたい、できれば控えたい」と回答。
- ◆これまで歯科医療でコロナ感染が起こっていないことを、73.8%が「知らなかった」。
- ◆「マスクをするようになって、笑ったり、口を大きく動かすことが少なくなった」(44.3%)、「マスクをするようになって、歯の健康や口臭を気にすることが減った」(25.4%)など、コロナ以降、歯や口内の健康が損なわれやすい状況になっている。

かかりつけ歯科医院がある人は約7割、前回調査から6ポイントUP

- ◆かかりつけの歯科医院がある人は70.1%、前回調査(2016年)から6ポイント上昇。
- ◆かかりつけの歯科医院の満足度は約80点(79.5点)。

理想の歯科医師像は 男性**福山雅治さん**、女性**天海祐希さん**

- ◆理想の歯科医師の条件は「高い技術」(74.0%)、「丁寧な治療」(72.7%)、「人柄・優しさ」(70.1%)。
- ◆有名人に例えると、男性では「福山雅治」さん、女性では「天海祐希」さん。

■このリリースに関するお問い合わせや取材、資料をご希望の方は下記までご連絡ください

「歯科診療」及び「歯科医師」に関する意識調査 広報事務局 担当：山口(やまぐち)

TEL:090-2502-3896 / E-mail: press@trenders.co.jp

※本リリースは、一般社団法人日本私立歯科大学協会の名称の下で、特許庁の登録商標として登録された商標が使用されています。

調査概要／まとめ②

② 歯科診療・歯科医師に対する意識と実態

「歯科医院への通院経路」を聞いたところ、97.3%と大多数が「通院したことがある」と回答。そのうち約7割(65.8%)が「約1年以内に通院した」と答えています。また、通院経路がある方(973人)が「歯科医院」に通った目的としては、「むし歯の治療」(46.1%)、「歯のクリーニング(歯垢・歯石除去)」(34.6%)、「むし歯の予防」(4.6%)などが上位となりました。さらに、「主にどのような時に歯科医院に行きますか?」という質問では、「定期検診などで定期的に受診している」が38.9%でトップに。前回(2016年)の30.3%と比べても6ポイント以上の上昇がみられ、定期的な歯科受診の考え方が広がっている様子がうかがえます。

次に、「かかりつけの歯科医院があるか」を聞いたところ、70.1%が「ある」と回答。こちらも前回(64.3%)と比べると6ポイント上昇しており、かかりつけ歯科医院の普及が進んでいる様子がうかがえます。なお、「かかりつけ」になってからの年数は平均で約18.9年。「かかりつけの歯科医院の満足度」は全体平均で約80点(79.5点)に上昇しました。また、「かかりつけの歯科医院があること」のメリットを聞いた質問では、「安心して治療を受けられる」が66.8%で最も多く、こうした安心感が、かかりつけ医師との長い付き合いや、高い満足度につながっているのかもしれない。さらに、「かかりつけの歯科医院を選ぶ際、重視したこと」については、「立地がよい」(56.4%)と並び、「歯科医師の人柄がよい」が54.9%となりました。「歯いやすいだけでなく、「歯科医師の人物像」を重視している人が多いことが分かります。

また、高齢化が進む、本社会においては、将来的に、通院ではなく、歯科医師や歯科衛生士が自宅に来て診療する「在宅(在宅診療)歯科診療」の需要が高まっていると考えられます。現時点での利用・認知状況を聞くと、訪問(在宅診療)歯科診療を自分または家族が利用したことがある人は10.7%となりました。さらに、認知率についても、半数近く(47.0%)に上っています。

続いて、「歯科医師のイメージ」について調査を実施。その結果、歯科医師像は「清潔だ」(91.6%)、「丁寧だ」(85.1%)、「信頼できる」(83.2%)、「やさしい」(77.7%)などの回答が多く見られました。なお、職業として扱えた場合では、「収入が高い仕事」(90.9%)、「やりがいがある仕事」(87.0%)、「尊敬される仕事」(85.9%)などが上位に。一方で、その責任の重大さからか、「ハードな仕事」(76.3%)というイメージを持つ人も多いようです。また、「歯科医師は、子どもや孫になってほしい職業」と答えた人も半数以上(50.1%)に上っています。

さらに、自分が望める「理想の歯科医師」について質問すると、「高い技術で治療してくれる」が70.0%で最も多く、以下、「丁寧な治療してくれる」(72.7%)、「人柄がよい・優しい」(70.1%)と続きました。また、「この人が歯科医師だったら、診てほしい」と思う有名男、女について聞くと、男性では福山雅治さん(70歳)、女性では天海祐希さん(68歳)に支持が集まりました。

① コロナ禍での歯科受診について

新型コロナウイルスの感染が拡大する状況下での歯科受診について調査を実施。新型コロナウイルス感染が広がっている時期(2020年2月～8月)の歯科受診・歯科定期検診に際して聞いたところ、「感染拡大中に受診・検診を控え、現在も実施していない」人が、「歯科受診」で19.8%、「歯科定期検診」で21.4%といずれも約5人に1人とりました。

そこで、あらためて「新型コロナウイルス感染が広がっていること、あなたは、歯科受診や歯科定期検診を控えることについて、どのように感じていますか?」と聞くと、61.7%が「歯科受診や検診を控えたい」/「できれば控えたい」と回答。その理由としては、「リスクを減らす必要があるため、感染リスクがあると思うため」(83.7%)が1位、「歯科医師や歯科衛生士と近い距離で治療や検査を受けるため、感染リスクがあると思うから」(64.11%)が2位に、感染を懸念して、歯科受診や検診に消極的な姿勢になっているようです。

しかし、2020年9月時点で、「歯科医院で新型コロナウイルスの感染は起っていません」とこのことを知っているかを聞いた質問では73.8%と大多数が「知らなかった」と答えています。

また、新型コロナウイルスの感染が拡大し、マスクの着用が日常的になってからのことを聞いた質問では、「マスクをするようになって、歯の健康や口臭を気にすることが減った」(25.4%)の人が1人に1人という結果に。そのほか、コロナ以降、「自宅待機」が増えて、朝食や、晩飯など、食べたり飲んだりしている時間が増えた人も43.2%に上っており、新型コロナウイルスの感染拡大状況下では、歯や口内の健康が損なわれやすい環境であるといえます。

調査概要／まとめ③

③ 口内環境・オーラルケアに対する意識と実態

「口内環境・オーラルケア」に関しては、まず「自身の歯の健康」について質問しました。永久歯は全部で28本であり、認知率が必ずあると合計30本になります。これを踏まえて、年代別に3番を見ると、10代では平均24.4本ですが、その後、年齢が上がるにつれて平均本数が減っていき、50代では25.0本、60代では24.1本、70代では21.8本がそれぞれの平均値となりました。

続いて、現在の「歯や口内の痛み」を聞くと、「食べ物がはかばかする」(29.8%)、「歯並び・ゆがみ合わせ・すき歯」(24.2%)、「むし歯がある」(23.3%)、「歯垢・歯石が多い」(23.2%)などが上位に。また、自分の「歯や口内の健康に対する自信」を質問すると、「自信がある」と答えた人は27.0%にとどまり、残りの約7割(73.0%)は「自信がない」と答えました。こうした「歯や口内の健康」に対する自信は、口内以外の健康面や精神面にも大きく影響するようで、前問で「自信がある」と答えたグループと「自信がない」グループでは、「健康である」と思うかどうかで28.4ポイント、「歯がよい」かどうかで28.2ポイント、「毎日が充実している」かで25.2ポイントの差が生じています。

一方で、「他人の口内環境で気になる点」としては、「口臭が強い」(66.3%)が最も多く、以下、「タバコやアルコールの臭い」(59.6%)、「歯並び・すき歯・ゆがみ合わせが悪い」(56.7%)、「歯垢・歯石が多い」(56.1%)などの回答が目立っています。

次に、「オーラルケア」について質問しました。オーラルケアとは、口内のケア、つまり歯や舌や、舌などを清潔に保つことに指します。まず、「自分で行っているオーラルケア」について聞くと、「歯ブラシで歯磨き」(87.3%)のほか、「歯間ブラシやフロスを活用する」(41.0%)、「自分に合った歯ブラシを選ぶ」(35.0%)、「マウスウォッシュを使用する」(28.7%)などが上位となりました。続いて、「歯科医院でのオーラルケア」について聞いた質問では、「必要だと思うので、実際に受けている」が45.3%と半数近く、前回の34.8%と比べても10ポイント以上増えており、歯科医院でのオーラルケアが普及していることが分かります。なお、歯科医院で実際にオーラルケアを受けていると同様した人(453名)にその内容を聞くと、「歯垢・歯石除去」(45.2%)による清掃が、85.2%が最も多く、以下、「むし歯のチェック」(86.4%)、「歯周病エックス・平刷」(58.7%)、「歯並び矯正」(55.8%)と続きました。さらに年代別でも違いが見られ、10代では「フッ素塗布」が35.6%と、全体平均(23.4%)を大きく上回っているほか、60代では「歯周病エックス・平刷」(70.3%)の回答、70代では「歯垢のメンテナンス」(20.7%)の回答が目立っています。

「歯や口内の健康」についての考えを聞いた質問では、歯や口内健康に役立つことが「全身の健康にとって大切である」と回答した人が95.9%という結果に。また、「自分の歯で食事を行うことが、「健康長寿」において立派だ」(93.8%)、「歯や口内健康に役立つことは、体の老化を防止することに役立つ」(91.4%)と回答した人も多く、それぞれ3割を超えています。

2. 第2回理事会（R2.11.19、WEB会議）において、羽村専務理事から資料により、今回の調査については、従来の質問項目に加えて、新型コロナウイルス感染症に関する質問を加えて実施し、コロナ感染拡大で61.7%の人が「歯科診療や健診を控えたい、できれば控えたいと」回答した一方、73.8%の人が「歯科医院でコロナ感染が起きてないことを知らなかった」などの結果が出ているなどの説明があった。また、調査結果については、各方面で報道・引用されているとの説明が、併せてあった。

白石事務局長から資料により、経費は3,311,000円で、消費税を除けば、4年前に実施した時と同額であったとの説明があった。

3. 第3回理事会（R3.2.25、WEB会議）において、白石事務局長から資料により、第5回「歯科診療」及び「歯科医師」に関する意識調査について、実施経費3,311,000円に対して、報道等の広告換算金額は、38,564,565円と約11.6倍の効果があったとの報告があった。

4. 第91回臨時総会（R3.3.25、WEB会議）において、羽村専務理事から資料により、令和2年10月に第5回「歯科診療」及び「歯科医師」に関する意識調査を実施し、プレス発表したところ、数多くの記事等に引用されたとの報告があった。

次いで、白石事務局長から資料により、実施経費3,311,000円に対して、報道等の広告換算金額は、38,564,565円と約11.6倍の効果があったとの報告があった。

（9）私立歯科大学（学部）の財政等の現状について（平成31年版）

加盟大学から資料の提供を受け、平成31年版を作成し、12月14日に経営部会委員へ送付し、情報を共有した。

（10）広報発行（第80号・第81号）について

1. 第1回広報委員会（R2.8.6）を書面により開催し、高橋委員長から、本年度の協会広報については、従前どおり年二回、発刊することとし、掲載項目について、前年度のうち、新聞記事の要点については、最近、教育に関する記事が大幅に増えてきており、かなりのページ数を占めてきていることから、経費節約の観点からも、広報には掲載せずに、10月からリニューアルされる協会ホームページの会員校向け専用ページに掲載し、その他については、従前どおりとすること（下記、掲載項目参照）及び巻頭言については、17会員校が一巡したので、新たな順番で学長・学部長等に原稿執筆を依頼することとしたいとの提案があり、これらのことについて、特段の意見はなく、これを承認した。

加えて、高橋委員長から、協会広報を、個人情報に係る部分を削除した上で、10月からリニューアルされる協会ホームページに掲載し、広く一般の方にもご覧いただけるようにしたいとの提案があり、このことについて、特段の意見はなく、これを承認した。

(11) 受験生確保対策事業について

①協会ホームページのリニューアルについて

1. 第1回理事会（R2.7.20、WEB会議）において、羽村専務理事から、高校生への発信力を高めるためのスマートフォン対応を進めるなどの内容を盛り込んだ、協会ホームページのリニューアルについて、6月2日に事務局から協会理事の皆様へメールを送信し、内諾をいただき、その後、EPARKと契約をして、現在、10月1日から新ホームページに更新することで、作業を進めているとの説明があった。

議長から、費用(約269万円)のかかることでもあるので、ホームページをリニューアルすることについて、追認いただきたいとの発言があり、これを追認した。

2. 10月1日から、新ホームページの運用を開始し、新たに設けた「協会からのお知らせ」や「私立大学歯学部全入試日程」のコーナーに適宜、情報を掲載するなどして、受験生への情報発信の充実に努めた。

3. 第2回理事会（R2.11.19、WEB会議）において、白石事務局長から資料により、協会のホームページを10月1日からリニューアルして、公開しており、10月1か月間で、約6,000件、実人数で約1,900人のアクセスがあったとの報告があった。

また、経費的には、リニューアル作業経費が2,689,500円であり、加えて1か月33,000円でサーバー利用及びデータの追加更新をエンパワーヘルスケア株式会社に委託しており、作業を依頼してからの対応も迅速で、助かっているとの説明があった。

②「歯学部へ行こう!!」について

1. 第1回理事会（R2.7.20、WEB会議）において、本田副会長から、「歯学部へ行こう!!2020」について、17大学から広告を出していただき、4月中旬に6万部を発行し、ダイヤ書房から全国の高校に配布するとともに、協会経費で進研アドを通じて、理事会で承認いただいたとおり、4月15日に6000人の高校生に直接、送付したとの報告があった。

2. 第2回理事会（R2.11.19、WEB会議）において、本田副会長から資料により、「歯学部へ行こう!!2020」の作成に関する説明があり、来年度も今年度と同様に、各大学から22万円を広告費としてお支払いいただくとともに、協会から47万3千円を支払って、66,000部作成し、内60,000部をウイング情報ボックスを通じて、また6,000部を進研アドを通じて高校生の自宅に送付することとしたとの提案があった。

引き続き、白石事務局長から資料により、各高等学校での冊子の配置状況や

本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、大学のオープンキャンパスが開催されていないことから、約半年で前年実績の1.1倍持ち帰られており、例年以上に情報提供に役立っているとの説明があった。

これらの説明を踏まえ、「歯学部へ行こう!!2021」の作成及び配布について承認した。

3. 第1回受験生確保対策委員会（R3.3.17）をオンラインにて開催し、白石事務局長から、「歯学部へ行こう!!2021」について、進研アドから提供していただいた資料「歯学系統の市場と高校生の志望校検討の状況」によれば、私立大学全体及び歯学部への志願者が減少傾向にあること、新型コロナウイルス感染症の影響によるオープンキャンパス中止に伴い、進学情報が不足していることなどを勘案して、送付先を3年歯学部志望者2000部、2年歯学部志望者2000部、保健衛生系・薬学部志望者2000部に変更するとともに、新たに1年の医・歯学部志望者に1500部送付することとし、配布部数は前年の6000部から7500部に増やすこととしたいとの提案があり、これを承認し、理事会に提案することとした。
4. 第4回理事会（R3.3.25、WEB会議）において、白石事務局長から資料により、3月17日に開催した第1回受験生確保対策委員会で協議し、理事会に提案することが承認された、「歯学部へ行こう!!」送付部数及び送付先の見直しについて、印刷の関係から事前に理事の皆様にもメールで意見をお伺いしたところ、賛成の意見の他には特段の意見はなかったとの説明があり、これを追認した。
5. 第91回臨時総会（R3.3.25、WEB会議）において、白石事務局長から、資料により、協会受験生確保対策委員会事業として実施している冊子「歯学部へ行こう!!」の高校生への送付について、令和3年度は、第1回受験生確保対策委員会及び第4回理事会での承認を得て、送付部数を6,000部から7,500部に増やし、新たに医・歯学部志望の1年生にも送付することとしたなどの変更点についての説明があった。

③高等学校等への入試関係資料の送付について

第1回受験生確保対策委員会（R2.3.17、WEB会議）において、川島総務課長から、令和3年度の高等学校等への入試関係資料の送付について、前年と同じ内容のものを高校及び予備校に送付することとしたいとの提案があり、これを承認した。

④入学志願者の状況調査等について

1. 第1回理事会（R2.7.20、WEB会議）及び第90回定時総会（R2.8.5、WEB会議）において、川島総務課長から資料により、令和2年度入試について、志願者数が対前年度9.1%減少したこと等の報告があった。
2. 第2回理事会（R2.11.19、WEB会議）において、川島総務課長から資料により、令和2年度私立歯科大学・歯学部学生数調査の報告があった。
3. 第3回理事会（R3.2.25、WEB会議）において、川島総務課長から資料により、令和3年度入学志願者状況について、前年同時期と比較して、志願者が△15.4%となっていることなどの説明があった。
4. 第4回理事会（R3.3.25、WEB会議）及び第91回臨時総会（R3.3.25、WEB会議）において、川島総務課長から資料により、令和3年度入学志願者・受験者状況について、昨年同時期に比べて、志願者が△17.7%となっていることなどの説明があった。

(12) 研修事業について

令和2年度に開催予定であった、第42回附属病院管理運営事務研修会及び第13回教務研修会については、第1回理事会（R2.7.20、WEB会議）の決定により、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から開催を中止し、翌年度へ開催を延期した。

(13) 私立大学歯学部学生生活協議会について

令和2年度に開催予定であった、私立大学歯学部学生生活協議会については、第1回理事会（R2.7.20、WEB会議）の決定により、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から開催を中止し、翌年度へ開催を延期した。

(14) 新型コロナウイルス感染症への対応について

①令和2年度協会事業の開催方法等について

第1回理事会（R2.7.20、WEB会議）において、三浦会長から、新型コロナウイルス感染症により、本日の理事会をWEB会議により開催しているように、協会の諸事業について、集合型での開催が困難な状況となってきており、本年度開催予定の教務研修会（東京、例年12月上旬開催）、附属病院管理運営事務研修（開催当番校：岩手医科大学、10月23日開催予定）、私立大学歯学部学生生活協議会（開催当番校：松本歯科大学、11月5日～6日開催予定）について、WEB

会議方式又はその他の形で開催することについて、意見をいただきたいとの発言があった。

引き続き、羽村専務理事から、7月6日に開催した事務局長会議において、11月12日～13日に朝日大学にお願いして開催予定であった本年度第2回事務局長会議をWEB会議で実施することとなったこと、及び協会の諸事業についても参考に意見をお聞きしたところ、集合型での開催は避けたほうが良いとの方向性を出席者全員で確認するとともに、複数の出席者から、研修は会議とは異なる性格があること及び懇親会等での本音の情報交換が大切との考えをお持ちの方もおられることから、本年度は敢えて、WEB会議方式で開催せずに、開催を来年度に延期するという考え方もあるのではないかと意見が出されたとの説明があった。

このことについて、私立大学歯学部学生生活協議会担当の大友副会長から、協議会は本年度から協会主催事業として開催することとなったが、前協議会会長からの引き継ぎの際に、引き続き、本音での意見交換がなされるように配慮してほしいとの申し入れがあったこと及び、このため議事録を詳細に作成しないとの慣例があり、WEB会議では記録を取られる可能性もあることから、事務局長会議での議論等を参考にして、本年度は開催せずに、来年度に延期することを提案するとの発言があった。

次に、研修担当の櫻井常務理事から、附属病院管理運営事務研修及び教務研修会について、WEB会議では、現場の人たちの活発な意見交換は難しいと思われることから、本年度は開催せずに、来年度に延期することを提案するとの発言があった。

また、私立大学歯学部学生生活協議会に出席したことがある理事から、自分の経験からも、来年度に延期することに賛成するとの意見が出された。

これらの議論を踏まえ、令和2年度開催予定の三事業については、その開催を来年度に延期することを承認した。

②協会加盟校の卒業式および入学式日程の調査について

令和2年2月18日から開始した、会員校の卒業式、入学式における新型コロナウイルス感染症への対応に関する調査について、会員校から新たな情報が寄せられる都度、取りまとめ資料を更新して、情報共有に努めた。なお、当該調査は5月7日まで継続して調査し、以降は、別途調査していた、「新型コロナウイルス感染症への対応状況について」に含めて調査することとした。(4月24日最終更新版、別紙1参照)

③新型コロナウイルス感染症への対応状況の調査について

令和2年3月26日から会員校における新型コロナウイルス感染症に対する、臨床実習の対応、附属病院の対応、新学期の開始時期等について、情報を収集し、会員校から新たな情報が寄せられる都度、取りまとめ資料を更新して、情報共

有に努めた。なお、当該調査は7月17日まで継続して調査を行った。(7月15日最終更新版、別記2参照)

④新型コロナウイルスに関係する調査について

1. 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、会員校において、教育、臨床、研究等に関して、今、困っていること及びこれから困ってくるについて調査を実施し、取りまとめた結果を添付して、5月15日付けで、文部科学省高等教育局医学教育課長及び労働省厚生労働省医政局歯科保健課長宛にこれらへの対応を要請する文書を提出した。(別記3参照)
2. 第90回定時総会(R2.8.5、WEB会議)において、羽村専務理事から、各大学で困っていることや要望を取りまとめて、5月15日に、文部科学省高等教育局医学教育課長及び厚生労働省医政局歯科保健課長宛に要望文書を提出したとの説明があった。

⑤新型コロナウイルス感染症への対応に伴う私立歯科大学・歯学部附属病院における収支状況等に関する調査について

1. 令和2年1月から5月における、新型コロナウイルス感染症への対応に伴う私立歯科大学・歯学部附属病院における収支状況等に関する調査を実施し、「私立歯科大学・歯学部附属病院の減収状況等について」にまとめ、会員校と情報共有するとともに、国会議員等への支援要請活動に活用した。
2. 第1回理事会(R2.7.20、WEB会議)において、羽村専務理事から、資料により、私立歯科大学・歯学部附属病院の減収状況等について説明があり、この調査結果をもとに、日本歯科医師連盟の協力により、連盟高橋会長と協会三浦会長の連名による要望書を自由民主党「大学病院を支援する議員連盟」会長 河村健夫衆議院議員、加藤厚生労働大臣及び萩生田文部科学大臣に直接手渡したとの報告があった。(別記4参照)

また、その際、直接の損失補填については、他業種との均衡もあり難しいが、新型コロナウイルス対応や教育の充実に係る経費については、支援できる可能性もあるとのコメントがあったとの説明があった。

次いで、三浦会長から、メールによる追加配布資料について、最終版であること及び、本資料は明日7月21日に開催される、超党派「コロナと闘う病院を支援する議員連盟」(令和2年7月7日設立)の総会における日本歯科医師会遠藤副会長の説明の中で、配布・説明いただくこととなっているとの説明があった。(別記5参照)

3. 第90回定時総会（R2. 8. 5、WEB会議）において、羽村専務理事から、減収状況調査の結果を踏まえ、加藤厚生労働大臣、萩生田文部科学大臣へ財政支援についての要請を行ったとの説明があった。

引き続き、三浦会長から、7月7日に設立され、7月21日に開催された、超党派「コロナと闘う病院を支援する議員連盟」の第3回総会における、日本歯科医師会遠藤副会長の説明の中で、協会に取りまとめた資料を配布して、説明していただいたとの説明があった。

⑥新型コロナウイルス感染症に関する病院経営状況調査等について

1. 文部科学省高等教育局医学教育課からの要請により、新型コロナウイルス感染症に関する病院経営状況調査(4月～6月)及び令和2年度補正予算の活用見込額について調査を行い、その結果を8月6日に、文部科学省高等教育局医学教育課に提出し、財務省及び厚生労働省への財政的支援の働きかけを要請するとともに、会員校と情報共有した。

2. 第2回理事会（R2. 11. 19、WEB会議）において、羽村専務理事から資料により、本調査は、文科省医学教育課からの依頼により実施しているもので、この調査は、国公立大学附属医科病院も同様に実施しており、文科省では、この調査結果をもとに、財務省と厚生労働省に、大学附属病院への財政支援を要請しているとのことであるとの説明があった。（別記6参照）

なお、調査の7月から9月分については、現在協会で行きまとめ中であること及び医科ではこの調査は来年3月まで実施することとなっており、私立歯科大学へも同様に継続調査の依頼がきていることから、各大学の事務の方には、大きな負担になっておられるとは思いますが、調査の趣旨をご理解いただき、引き続き、ご協力いただきたいとの依頼があった。

3. 新型コロナウイルス感染症に関する病院経営状況調査(7月～9月)及び令和2年度補正予算の活用見込額について調査を行い、その結果を12月8日に、文部科学省高等教育局医学教育課に提出し、引き続き、厚生労働省等への財政的支援の働きかけを要請するとともに、会員校と情報共有した。

4. 第3回理事会（R3. 2. 25、WEB会議）及び第91回臨時総会（R3. 3. 25、WEB会議）において、白石事務局長から資料により、調査結果について、4月～6月の状況に比べて7月～9月の状況は、医業収入、医業利益及び外来患者数ともに前年並みに回復しつつあるものの、累計では依然、前年を大幅に下回っていること、令和2年度補正予算の活用見込みは、対応策が医科病院中心のものとなっていることから、附属歯科病院への支援額は少額となっているとの説明があった。（別記7参照）

併せて、調査結果は文部科学省高等教育局医学教育課に提出し、厚生労働省への支援拡充の働きかけを依頼しているとの説明があった。

⑦感染防護用品調達安定化調査事業について

1. 第2回理事会（R2. 11. 19、WEB 会議）において、白石事務局長から資料により、国立大学病院長会議が文科省から委託を受け実施している感染防護用品調達安定化調査事業について、文科省の配慮により、私立歯科大学協会から事務局長がオブザーバーとして出席していること及び現在国内外の企業の調査が行われており、今年度末にまとめられる調査結果を私立歯科大学各校においても、今後の安定調達の参考にしていただきたいとの説明があった。
2. 第3回理事会（R3. 2. 25、WEB 会議）及び第91回臨時総会（R3. 3. 25、WEB 会議）において、白石事務局長から資料により、現在、配布資料の中の調査報告書の骨子に沿って、国立大学病院長会議において、感染防護用品調達安定化調査事業報告書を作成中であること及び報告書は3月末には冊子としてまとめられ、私立歯科大学・歯学部にも配布されるので、活用していただきたいとの説明があった。

(15) 災害歯科保健医療連絡協議会について

1. 日本歯科医師会から提供された、令和元年度災害歯科保健医療体制研修会の内容を収録した DVD を、日本歯科医師会の了解を得て、協会で複製し、会員校に6月4日に配布した。
2. 日本歯科医師会からの依頼により、令和2年度災害歯科保健医療体制研修会及び災害歯科保健医療アドバンス研修会（新規）への参加希望者を会員校に照会し、9月24日に推薦した。
3. 第2回理事会（R2. 11. 19、WEB 会議）において、羽村専務理事から資料により、8月25日に開催された第11回災害歯科保健医療連絡協議会について、本年度の主な変更点として、新たに災害歯科保健医療アドバンス研修会が新たに実施されることとなっているとの説明があった。
4. 第3回理事会（R3. 2. 25、WEB 会議）及び第91回臨時総会（R3. 3. 25、WEB 会議）において、羽村専務理事から資料により、令和3年2月16日に開催された、第12回災害歯科保健医療連絡協議会において、JDAT のチームへの参画要請が各歯科大学・歯学部になされることとなったとの説明があった。

引き続き、高橋常務理事から、5年前の熊本地震の際に、福岡県内の3歯学部が福岡県と連携して、それぞれ支援チームを編成し、交代で歯科医療支援を

行ったこと及び九州北部豪雨の際にも、同様の活動を行ったことの先行事例の紹介があった。

(16) 日本私立歯科大学協会賛助会員の退会について

第1回理事会（R2.7.20、WEB会議）及び第90回定時総会（R2.8.5、WEB会議）において、前年度末をもって、大成歯科工業（株）が退会されたことの報告があった。

(17) 私学関係諸団体との提携・協力及び援助について

知識と技術の向上を図り、歯科医療の発展に寄与することを目的として活動を行っている下記の5つの団体に対して、その活動を後援するため、各10万円の助成金を交付した。

- 全国私立歯科大学・歯学部附属病院看護部長会
- 全国私立歯科大学附属病院薬剤部長会
- 日本私立歯科大学・歯学部附属病院歯科技工士協議会
- 日本私立歯科大学・歯学部附属病院歯科衛生士協議会
- 全国私立歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師代表者会